

2025 年 4 月 9 日

神奈川県最低賃金審議会 会長 様
神奈川県労働局長 様

神奈川県労働組合総連合
議長 住谷 和典
(印 略)

神奈川県地方の最低賃金を今すぐ1500円以上に引き上げ、 全国一律最賃制度の確立を求める要請書

数十年来にわたる賃金の抑え込みが、経済や社会に悪影響を及ぼしていることを政府や経済団体も認め、賃金引き上げの必要性に言及する状況です。

一昨年頃から賃金のベースアップが実現し、特に大企業正規労働者の初任給や若年層の賃金は一定程度引き上げられてきています。しかし、非正規雇用労働者や中小企業労働者などの賃上げは不十分で、実質賃金は下がり「生活が苦しい」との労働者が増えています。労働者全体の賃金を引き上げるためにも、底上げとなる最低賃金の大幅引き上げは待ったなしです。

昨年の最低賃金改定では、地域経済の実状などを勘案し「目安」を上回る県が多数ありました。また制度の欠陥を指摘し、全国一律の制度を求める県知事の発言もありました。

私たちは、地方経済の衰退を助長し日本全体の経済発展の足かせになっている全国バラバラの最低賃金を全国一律制度にすることと、「今すぐ時間額 1500 円以上」の実現をめざしています。あわせて、中小企業・小規模事業者への支援策の強化や、公正な取引により賃金の上昇分も含めて取引単価や価格に適正に反映される仕組みを整備することを、強く求めています。

つきましては、下記項目を要請するものです。

記

1. 神奈川県地方の最低賃金を直ちに時間額 1500 円以上に引き上げること。最低賃金額は、最低賃金法に基づき生計費を満たす額とすること。
2. 中小企業などが取引単価や価格を適正に引き上げることができるよう、関係機関に強く要請すること。中小企業への支援策を強めるとともに、社会保険料の減免など中小企業が強く求める施策の実施などを、関係機関に求めること。
3. 全国一律最賃制度の確立を中央最低賃金審議会と厚生労働省に求めること。
4. 神奈川県最低賃金審議会を傍聴できる人数を増やすこと。審議の公開性をいっそう高めること。

以上